

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

埼玉県

行事名称	文化財防火デー火災防御演習
実施期間・日時	令和7年1月26日（日）午前9時00分～10時00分
実施場所	曹洞宗萬頂山集福寺（熊谷市下奈良551番地）
主催者	熊谷市消防本部、熊谷市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

連日の晴天続きにより空気が非常に乾燥し、乾燥注意報が発表され、前日から大陸の高気圧が一段と強くなつたため、熊谷地方気象台が埼玉県北部地方に平均風速は毎秒1.1m、最小湿度は25%以下になる見込みと発表。

8時59分、指令センターは、火災報知専用電話により「熊谷市下奈良551番地、集福寺（市指定文化財）法堂から出火、敷地内建物へ延焼危険あり、寺の関係者及び近隣住民が初期消火にあたっている。」との通報を受信、各署に火災出動を指令する。出動指令により、熊谷市消防本部出動。

さらに、消防指令センターは近隣住民から「建物内に取り残された数名の男性がいる。」との第2報を受信し、出動中の各隊に支援情報として無線により周知する。

火災現場に第1到着した熊谷指揮1号車隊からの報告では、建物（法堂）の開口部から火煙が噴出しており、建物東側へ延焼拡大している。建物関係者と接触し得られた情報では「建物内に取り残された男性数名がいる。」とのことである。

指揮隊長は、出動の途上に「人命救助最優先、延焼阻止、隊員の安全管理」との活動方針を下命する。さらに、火点の南西側に現場指揮本部の設置を下命する。

訓練の内容

集福寺関係者による火災発見、通報、初期消火、文化財の搬出。施錠入口のエンジンカッターによる開錠後、要救助者3名（重症1名、軽症2名）の救出。消防署、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

集福寺関係者：火災発見、119番通報、初期消火、文化財の搬出

熊谷市消防団：放水訓練

熊谷市消防署：全体統括、放水訓練

市長、副市長、団長：巡視

市長、教育長：講評

熊谷市教育委員会：現場立ち合い

特に工夫した点

- ・消防署及び地元消防団の連携により迅速かつ円滑な消火活動を実施。
- ・法堂南側に位置する仏殿、廊下等への飛火防止のため、水幕ホースによる放水を実施。

問題点・課題

- ・寺院に放水銃やポンプ等の設備がないため、消防の到着が遅れた場合の対応についても要検討。
- ・訓練参加者（地元住民、寺院関係者等）の高齢化。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となるため、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



寺院関係者による初期消火



水幕ホースによる放水